

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アフタースクール シーグラスめむろ教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域の方々、プロジェクトめむろと繋がりが深いこと。 商店街の方々を知り、地域の方々に子どもたちを知ってもら う活動をしていること。	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントに積極的に参加していること。 必要な物は地域のお店の利用をしていること。 お仕事体験を継続的にさせていただいていること。 イベント時に商店街に出かけ、交流をしていること。 プロジェクトめむろ利用者との交流の機会を持つこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流店舗の拡大。 地域で行われるイベントの継続的な参加。 お仕事体験やイベント活動の継続。
2	お仕事体験活動を通し、対価(事業所内通貨)を得る喜びとそ れを使う楽しさを経験出来ること。	<ul style="list-style-type: none"> お仕事体験に変化をつけること。 児童に合わせてお仕事内容を変更していること。 イベントを定期的に行い、事業所内通貨を使用した楽しめ る活動を提供していること。 日常的に事業所内通貨を使用した活動を提供しているこ と。 	<ul style="list-style-type: none"> マンネリ化しないように変化をつける。 外部のお仕事体験を増やす。 子供たちがやりたいと思う活動の提供。
3	職員同士、意見が言い合えること。	<ul style="list-style-type: none"> 意見を言う場を設けていること。 みんなが発言する機会を持てる雰囲気を作っていること。 出た意見に対して相手を受け入れることを意識している。 たとえ、その時に出来なくても、時間を置いて話しをするこ と。 活動の振り返りの際、改善策を出し合うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合う時間を今後も設ける。 振り返りの際は、率直な意見を出し合い、今後に繋げ る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新しく始めた活動が継続されないこと。	やり始めたことが定着する前に終わってしまうこと。	<ul style="list-style-type: none"> 新しく始めたときに評価時期を設ける。 その活動を振り返り、今後の継続を検討する。
2	プロジェクトめむろとの関係性が保護者に周知出来ていない こと。	関わるのが少ないこと。	<ul style="list-style-type: none"> 説明の機会を作る。 交流する機会を作る。
3			